

令和6年度

信州ESDコンソーシアム成果発表&交流会

長野市立信里小学校3学年・4学年への質問・感想

(児童のみなさんへ)

- ・ シナイモツゴは小さい生き物であり、卵はもっと小さいので観察するのがとても難しいなか、顕微鏡などを使って観察していてすごいなと思いました。池にかえすときもただ放流するだけでなく、外来種のザリガニの影響についても缶和えられていて、シナイモツゴを守ることへの熱意を感じました。
- ・ 地域の貴重な魚を守るためにザリガニを駆除しましたが、命を考えると殺すことを迷い、いろいろに話し合っただけで肥料として生かすことにしました。迷いが深い学びにつながっていました。
- ・ シナイモツゴを大切に育ててきたことがわかりました。やはり育てるのは難しいですね。大人のシナイモツゴを逃がすために、アメリカザリガニを駆除するのは大変でした。ザリガニを土に埋めるだけでなく、活用していて良かったです。シナイモツゴの保護を応援しています。頑張ってください。
- ・ シナイモツゴを育てることで、シナイモツゴそのものにも、学校の環境や捕食者であるザリガニについてなどたくさんのことを学習していて、とてもすごいなと思いました。また、ザリガニがシナイモツゴを食べてしまう敵のような存在かもしれないけれども、きちんと命ある存在として考え、どうするか考え決断する姿はとてもやさしいと思ったし、かっこいいと思いました。その気持ちを大切に、これからの活動も頑張ってください。
- ・ ザリガニの駆除の経験を通して命の大切さについて学ぶことができていたので素晴らしい活動だと思いました。
- ・ シナイモツゴについて知ることができました。たしかに外来種ではあるが、シナイモツゴのためならザリガニを駆除をしてもよいのかというのは難しい問題だと思いました。ザリガニにも命があることを考えたうえで、ザリガニの命をシナイモツゴの命につなげるという考えはよいと思いました。
- ・ 最近里山について良く学ぶのでとても興味深い内容だと感じました。大学の講義内でもザリガニ（外来種）についてよく考えましたが、ザリガニを肥料にするという発想はありませんでした。食べてしまう・埋めてしまうなどそんなところしか思いつかなかったのも、。そしてその肥料を実際に使っているのが良かったです。私も保全活動をしていかなければいけないともう一度思い直すきっかけになりました。
- ・ 命との向き合い方がすてきだと思いました。また、ザリガニをひ料にしたり、苦しめない死にかたを考えたり…自分たちで、命をなくすことに向き合っただけで、自分たちなりに決めたことがすごいなと思いました。仲間と話しあいながら、いろんな人のお助けもかりて、やりたいことをやっていくことができるみなさんなんだなと思いました。
- ・ 素敵な発表ありがとうございました。絶滅の恐れがあるシナイモツゴについて調べたり、触れ合ったりすることを通して、信里の宝であるシナイモツゴを守ろうと活動に取り組んでいる様子が伝わってきました。
- ・ 素敵な発表ありがとうございました。外来種であるザリガニの駆除を通して、命の大切さを感じることが出来たのは、とても良い経験だったのではないかと思います。今回はシナイモツゴを守るためにザリガニの命を奪うという選択をしていましたが、私たち人間は人間の命のために常に他の動植物の命をいただいていることを意識して生きていけるといいなと思いました。
- ・ 命の大切さ、生命の神秘性を皆さんの熱のこもった発表から感じられました。外来種の危険性にも触れ、食う食われるの関係の学習も十分に理解している要津が見られ、多面的・多角的な活動であることがわかりました。外来種に対する対応についてたくさん議論したんだろうと推測できる発表で、どんな議論が繰り広げられていたのか興味深かったです。この活動を通して得た知見を、今後の学習に活かしてってください。
- ・ シナイモツゴの話聞いて、「守りたい」という想いを持ち、実際に行動に移すことができるというのは、皆さんだけの宝物なのだろうと感じました。また、活動の途中で「逃がそう」と思えるには、とてもみなさんは悩んだと思うし、その決断ができたみなさんの意志の強さを感じました。
- ・ シナイモツゴを守るためにただ育てるだけではなく、どういう生き物なのかを調べることから始めていたことがすごいなと思いました。また、池に戻すときに外来種であるザリガニの影響を考え、ザリガニについてもただ駆除をするのではなく、ザリガニの命も大事にするために無駄にしないように何が出来るのかを考えて行動できていることがすごいなと思いました。
- ・ 外来種であるアメリカザリガニの問題と向き合いながら、命の大切さについて考えている点がとても印象に残っています。特にザリガニにも大切な命があるという視点を持ちながら、それでも外来種が生態系に与える影響をしっかりと考え、「どうすれば良いのか?」をみんなで話し合い、決めているところがすごく大切な瞬間なのではないかなと私は感じました。ただ駆除するだけではなく、その命を肥料にすることで、新たな形として命をつなげていくという活動がすごく魅力的で、たくさん考えたことが伝わってきました。これは、自然の循環を意識した持続可能な取り組みでもあって、命を無駄にしない工夫というみなさまの思いが素敵だなと思いました。『外来種』という言葉だけで捉えて、悪と決めつけるのではなく、命と向き合いながら、それでもあるべき方向へ持っていくためにはどうすればよいのかを一生懸命考えていて素晴らしかったです。素敵な発表をありがとうございました！

- ・ シナイモツゴ保護の取り組みはもちろんであるが、そこから派生したアメリカザリガニに対する取り組みがすごく興味深いなと感じました。ザリガニを駆除するだけでいいのかという発想になる心は大事にしてほしいなと強く感じます。ザリガニがまさか肥料になるとは知らなかったので、いい学びになりました。外来種であれ何であれ、自然界や人間にとって迷惑だから駆除する、で終わらせるのではなく、何かに活用できないか、駆除することは必要なのか、手段はあっているのか、などなど、考えるべきことはたくさんあるし、それを怠ってはいけななと考えるだけでいい発表でした。
- ・ 発表ありがとうございました。皆さんハキハキと立派な発表でした。四季折々の自然体験をされていて、とても濃密な体験になったと思います。特に、シナイモツゴの存在は初めて知り、絶滅危惧種となってしまった背景と歴史を皆さんの発表から学ぶことができました。絶滅させないための取り組みとして、天敵であるザリガニを駆除するなど精力的に活動していて素晴らしいと思いました。また、駆除したザリガニにも命があることをきちんと理解している皆さんは、命を粗末に扱おうとせず、有効活用しようとしていました。たえ天敵でも、その命をどのように扱うかという視点は重要だと感じました。
- ・ 茅野市立永明小学校のみなさん、素敵な発表をありがとうございました。
「かいこ」に着目し、たくさんのなげに向き合ってきた様子がとても伝わってきました。発表の際のスライドにあったように、かいこを様々な過程で学習に活かしており、素晴らしいなと感じました。実際に飼育することで、苦労もたくさんあったと思いますが、みなさんの姿から、おかいこ様をととても大切にしてくださったことが容易に想像できました。私も、発表を聴いていて、「たしかに、なぜ、虫を家畜として飼育するのか」といった疑問を持ちました。しかし、みなさんの丁寧な発表を通して、その理由がわかりました。
たくさんの用途で活かせるおかいこさまの魅力、すごさがよく分かりました。ありがとうございました。
- ・ 信里小学校の皆さん、素敵な発表をありがとうございました。
私は、みなさんの発表を聴くまで、「シナイモツゴ」という生物を知りませんでした。そのため、皆さんが行ってきた、シナイモツゴの生息のための活動のお話はどれも新鮮で、聴いていて楽しかったです。シナイモツゴを守るため、その敵を駆除したり、環境を整えたりと実際に多くの活動を行っている点が素晴らしいと感じました。
また、発表の中では、活動をただまとめるだけでなく、皆さんの考えたことや感じたことも丁寧に表現されていて、その様子がよく伝わってきました。
生物の生存のため、その環境を整えることは、決して簡単なことではないと思いますが、たくさんの知識や経験を活かしつつ、活動に取り組む姿が素晴らしいと感じました。みなさんの発表を経て、自然の尊さを改めて感じることができました。
とても貴重なお話をありがとうございました。
- ・ シナイモツゴをどのような風に捕まえるのか、まずは卵がどこにあるのか、どのように生息すればいいのかなど様々な面からシナイモツゴについて調査をしていてわかりやすかったです
- ・ 発表を聞く中で、みなさんが「シナイモツゴ」のことをとても大事に思っているのだなということを感じました。また、シナイモツゴを守っていく中で出会った「アメリカザリガニ」に対してもみんなで様々なことを考えたということがとても素晴らしいと思いました。みなさんの「シナイモツゴの命もザリガニの命も大事」という言葉に、私自身とてもハッとさせられました。どうしても外来種という「いやなもの」と考えてしまいましたが、人の手によってそうなってしまっていることを改めて学ぶことが出来ました。ぜひこれからも信里のシナイモツゴをみなさんで守ってほしいなと強く感じました。発表ありがとうございました！
- ・ たくさんの生き物の観察やサンフジを作ったり、売ったり、とてもいい経験をしていると思った。
シナイモツゴについて初めて知った。絶滅危惧種だということも知った。ポン助という名前がかわいいと思った。シナイモツゴを守りたいという考えは素晴らしいし、守るための活動を行うことはとてもいいことだと思う。
- ・ シナイモツゴという生物は今回初めて聞いた。今回のように自分が聞いたことのないだけで、多くの動植物が絶滅危惧種になってしまっているのではないかと感じた。人間が生きていくためだけではなく、多くの生態系のバランスのことを考えて生きていけるようにしたいと感じた。
- ・ 里山の命のつながりや、とんぼ・りんごの学習など、地域の自然を実際に体験しながら学んでいる点がとても良かったと思いました。特に、収穫したりんごをスーパーで実際に販売するという実践的な取り組みは、学びを社会と結びつける素晴らしい経験になったと思います。また、シナイモツゴの調査や飼育を行い、ため池と教室で飼育した個体との違いに気づくという観察力や気づきがとても面白いと思いました。ザリガニの駆除活動も、生態系を守るためにとても大切なことです。今後も、地域の自然とどのように関わっていくかを考えながら活動を続けてほしいと思いました。
- ・ 自然豊かな地域だからこそできるトンボの観察やりんごの収穫・販売、そして絶滅危惧種のシナイモツゴの観察ができるのがとても良いなと思いました。また、実際にシナイモツゴに詳しい専門家の方と一緒に川へ行って卵を探しに行ったり世話をすることによって絶滅危惧種を守る大変さを知ることができたのは貴重だなと感じました。
- ・ シナイモツゴについて初めて知りました。皆さんがシナイモツゴについてよく調べた事がよく伝わりました。また、皆さんがシナイモツゴを飼育する上で試行錯誤したり、活動に起こしたりと、シナイモツゴ大切にしている事がよく分かりました。
- ・ 「シナイモツゴ」という生き物をはじめて知りました。「シナイモツゴ」を守るために、様々な学習をしていて、その知識を利用して、シナイモツゴを育てていて、その過程で、アメリカザリガニを捕獲して、それを肥料にするなど、次から次へと学習が進み、とてもやりがいのありそうで、「命の大切さ」など大切なことを学べる学習であると思いました。

- ・シナイモツゴがどのような場所にたまごを産むのかやシナイモツゴを孵化させるなどの活動をするを通して違いや気づいたことを発見していたり、シナイモツゴを守るためにザリガニの駆除する方法を学んでいたと感じた。
- ・問題点をあげた後、直接的な対応だけでなくザリガニを駆除することをあげ、そのザリガニも駆除するだけでなく活用するにはどうすればよいのか。その具体的な方法を実際に体験したことをもとにはびょうされている点がよいと思った。
- ・一つ目の課題を解決するのかわ、新しい課題を見つけ、生徒みんなで問題解決をしていたことが発表から感じました。探究活動の中で「いのちの学習」をもすることができていて非常に有意義な時間だったのではないかと思います。
- ・スライドの写真だけでなく、実物のシナイモツゴを見せてもらったので、大きさのイメージがしやすかったです。また、くじょうのために取ったザリガニをただ土にうめるだけでなく、調べ活動をした上でザリガニの命をむだにしない方法を考えられていて良いと思いました。
- ・ザリガニ釣り楽しいですね。私はザリガニをつって食べましたが、可食部が少なく、味も味のない伊勢海老といった感じでおいしくなかったです（笑）。ザリガニを肥料にすることができるというのは、初めて知ったので面白かったです。
- ・地域の人に協力してもらい、様々な体験を行っている点が非常に魅力的でした。様々な専門の方々の力を借りて、シナイモツゴのお世話をしていることで、地域と関わり、また地域の特色を再確認する機会となり、とても良い活動だと思いました。
- ・今回の発表を聞いて私は、シナイモツゴの保護に対する活動も無駄がない物であり素晴らしい探究であると感じた。シナイモツゴの保護のためにザリガニを駆除するときザリガニを無駄にしないようにするために肥料にするなどの改善を施しており、SDGsなどの考えに対していい活動であると感じた。また命の重さが平等であることにも気づけておりいいことであると感じた。
- ・シナイモツゴについて調べたり育てる過程の中で、命について考えることという内容が素晴らしいものであったと思います。シナイモツゴのためのザリガニの駆除について、命をどう扱うか考えることで生態系への理解が深まったのではないのでしょうか。良い学習活動であったと思います。
- ・シナイモツゴの基本的な情報とその生態に加え、現在の環境の変化に伴う実態をしっかりと調べているところがとても良いと感じました。また、調べるだけでなく、実際に自分たちが出かけてフィールドワークを行っていることで発表に説得力が増して良いと思いました。これからも頑張ってください。
- ・シナイモツゴの卵が身近な場所にあることに驚きました。自然をよく見ようとすることが必要なですね。また、ザリガニが51匹も捕れたということから、外来種が在来種を食べてしまうという問題や、環境問題について、自分に関わる解決すべき課題として捉えなおす機会になりました。
- ・シナイモツゴという絶滅危惧種の魚は初めて知りました。シナイモツゴを守るために外来種をただ排除してしまうだけでなく、ザリガニの命も尊重し、活動をしていて感銘を受けました。生物たちが心地よく過ごせるようになっていったらいいと思います。応援しています。
- ・自分たちなりに考えて、外来種を駆除する方法を考えたり、有識者に聞いたりして、何とか解決することができないかと考えていてよかったです。また、発表も端的に重要なところ江尾をまとめて発表することができていてよかったです。
- ・地域の方とのかかわりを通して様々なことについて実際に現地に行って学びを深めることによって深い学びがなされていると感じました。絶滅危惧種に注目して扱うということはとても大変で難しいと思うが、詳しい先生のお話を聞き、実際に観察することがとても素晴らしい活動であると感じました。シナイモツゴの保全のためにも頑張っていってほしいと思いました。
- ・シナイモツゴについて知るための過程で地域の人とのかかわりが生まれるなど、生き物や命の学習につながることで以外にも、コミュニケーションをとることや、人とかかわりについても学ぶことができたのではないかと感じた。
- ・実物の魚を見せていたので、名前を聞いたことがない魚でも発表が分かりやすかったです。発表するときの話すスピードや声の大きさなどが工夫されていて、とても聞きやすかったです。ザリガニの扱い方に疑問を持ち、様々な人に話を聞いていたので、視野が広がる活動ができていたと思います。
- ・シナイモツゴやシナイモツゴが住む環境について、実際に自分たちの足で外に出て調べていたことがとても良いなと思いました。実勢に見てその様子を学ぶことで、触れること聞くこと見る感じることで、それによってネットなどで調べるより深い知識を得ることができるし、より広い解決策を得ることができると思います。これからも活動頑張ってください。
- ・シナイモツゴがどのようなところに卵を産むのかなど性質を調べ、飼育するために外来種であるアメリカザリガニを駆除するなどしてシナイモツゴを守ることができていて良いと思った。生き物の命について考えられて良い活動だと思った。
- ・自分たちでシナイモツゴの卵を直接見に行く行動力が素晴らしいと感じた。大事な文章を強調して色を付けて書いている点が素晴らしいと思った。大人のシナイモツゴと子供のシナイモツゴの特徴の違いをまとめていたところに根気強さを感じた。
- ・これまでの活動や今回の絶滅危惧種であるシナイモツゴの調査によって多くの知識や力を身につけていてとても良い活動をしているのだと発表を見て感じました。シナイモツゴを繁殖させるためシナイモツゴの生態を調べるなど多くの調査があり、見ていてとても面白かったです！
- ・実物を見せながら過程までいねいに説明してくれていて、とても分かりやすかったです。これからも頑張ってください！
- ・近くのスーパーに自分が育てたリンゴを売ったりしているのがすごいと思いました。また、虫の本物を見せることでわかりやすくなっていると思いました。

- ・ 一人一人がとてもハキハキと話していたため、聞きやすかったです。内容を暗記し、正面を見て話している点も素晴らしいと思いました。内容が時系列順のためイメージがしやすく、わかりやすかったです。何を教えてもらい、それをどう生かしたか、その時何を考えていたのかが話されているのがよいと思いました。自分たちで考え、きちんと命に向き合っているところに好感を持ちました。
- ・ 話を聞いたことをもとに、実際に探してみたというのが良いと思いました。また、その探した卵から育てるとというのが良いと思いました。そこから大人との違いが学べたのですね。シナイモツゴを守るということ、ザリガニの命をいただくことについて自分たちで考えられていてすごいと思いました。頂いた命を次の命につなげられたのも素敵だと思いました。
- ・ スライドがきれいにまとめられていると思うのだけれど、動画の手振れで見づらくなっているのが、とてももったいないなと感じた。でも、大きな声で全員が発表出来ていて内容自体はとても分かりやすかったから面白かった。
- ・ シナイモツゴを活かすために池の中のザリガニを駆除しなければならない現実に向き合うことができていて良かった。生き物を特定の場所で人工的に繁殖させることの難しさを感じることができていたように思う。生き物が本来の住処で繁殖できるようにこれからも地球全体で働きかけるべきだと考えた。
- ・ 信里小学校でのシナイモツゴを守るための取り組みは、非常に重要で意義深いと感じました。地域の生態系を理解し、絶滅危惧種に対する意識を高めることは、子どもたちにとって貴重な学びの機会となるのではないかと感じます。シナイモツゴが「ぼんすけ」として親しまれていることから、地域の文化や伝統も感じられました。このように身近な生き物を通じて、環境問題について考えることができるのは素敵だと思いました。また、水槽での飼育における縄張り意識の問題や、外来種であるアメリカザリガニの影響を理解することで、自然界の複雑さを学ぶことができています。さらには、ザリガニを駆除し、その後の肥料作りに活用するという循環型の考え方も非常に素敵だと思いました。環境保護と持続可能な資源利用を両立させることができるという点で、実践的な学びが得られると思いました。このような活動を通じて、子どもたちが環境保護の大切さを理解し、将来的に持続可能な社会を築くための意識を育てることができると期待しています。
- ・ 信里小学校の3・4年生の皆さんの発表を聞いて、シナイモツゴは絶滅危惧種の魚であることを初めて知りました。生息環境が悪化した結果、絶滅危惧種に指定されたということで、私たちがこれから守っていかねばならないという意識が強くなりました。発表では、実物の魚を見せたり、特徴を伝えたりしながらシナイモツゴを保護するための方法を考えていたのは素晴らしいと思います。また、魚に詳しい先生の話聞くことや、野外での活動を取り入れるのは良いと思いました。このように、実際にシナイモツゴの生息環境を観察しながら学びを深めることが大切だと思います。地域の方々と協力して活動を行うことで、シナイモツゴの存在を広く知ってもらう機会にもなるのではないかと感じました。シナイモツゴの保護は決して簡単なことではないですが、信里小学校の皆さんのように熱心に学び、考えて行動を起こすことで、少しずつ環境を変えていくことができると思います。これからも、地域の自然を守るための活動を継続してほしいと思いました。
- ・ シナイモツゴの生息地についての調査、いきやすい環境づくりなど、とてもよく調べられていたこと、保護活動に取り組む皆さんの努力に驚きました。また、シナイモツゴから、外来種のアメリカザリガニにまで学びを深めていてすごいと思いました。これからも地域の自然を大切に、環境保護の活動を続けていってください！
- ・ まずプレゼン時に資料を見ずに、真っすぐ話しているのが素晴らしいと思った。声も前に飛んでいて聞きやすい発表だった。動物物についての学習をする際に、動物園に電話したり、調べ学習をするという方法が良いと思った。先生に相談したりするのももちろんだが、外にいる専門の方の知識を活用することは良いことだと思う。外来種の予防3原則なども調べているので様々な活動に派生させることができると思った。
- ・ 絶滅危惧種を守る活動の中で、同時に生態系に悪い影響を与える外来種の駆除も行っているところがとても素晴らしいと感じました。自分たちの身近なところから、シナイモツゴをどんどん繁殖して行って、徐々にシナイモツゴを育てる範囲も大きくしていけたらより良い活動になるのではないかなと感じました。先生方と協力して、その他の外来種も少しずつ駆除していけたら良いですね！
- ・ シナイモツゴがどのような経緯で川にきたのか、地域の人からどのように呼ばれていたのかを発表していて、シナイモツゴが昔からその地域で大切にされてきたことが分かりました。稚魚を池に放つためのザリガニの駆除活動を先生に任せるのではなく、児童たち自身で行っていたことが良い点だったと思います。稚魚だけでなくザリガニの命とも向き合い、命を奪うことには覚悟が必要なことやいただいた命を粗末にせず活かすことの大切さを学ぶ良い機会になったのではないかと思います。
- ・ 絶滅危惧種であるシナイモツゴを守るために、中野先生に相談したり、たくさんさんの課外学習を行っていたことを知り、シナイモツゴを守ろうとする真剣さが伝わりました。その中でも、シナイモツゴを増やすために川に放流しようとした際、川にいるザリガニを駆除する必要があるというジレンマが生じてしまったことが印象に残りました。シナイモツゴとザリガニのどちらの命を優先するかすごく迷ったと思いますが、ザリガニを肥料などにして無駄なく利用していたので素晴らしいと思いました。これからもぜひシナイモツゴを守り続けてください。応援しています！

- 初めてシナイモツゴについて知ったので驚きがたくさんあった発表でした。皆さんで協力して卵を見つけに行ったり、卵を産む場所について学習しながらシナイモツゴと関わっていく姿に感動しました。皆さんの発表からは「実際に行動することの大切さ」に気が付きました。例えば産卵調査や孵化、育成など実際に絶滅危惧種と触れ合っていくことでその存在の大切さや、実態に迫ることができたのではないかと感じました。さらに、増やすための取り組みとして池にいる外来種の駆除や活用方法について話し合ったりチャレンジする姿から「シナイモツゴを助けたい」という想いが伝わってきて、応援したい気持ちになりました。

皆さんの積極的な活動に、「小学校3年生、4年生とは思えない意志の強さと行動力だなあ」と感激しました。これからの活動にも期待しています。頑張ってください！

- ザリガニのような外来生物の取り扱いで駆除しなければならないことは国によって決められている。しかし、決められているからといって簡単に命を奪ってもよいのかについては考えるべきことのように感じた。その中でただ命を奪うだけでなく命をつなげる活動にいきついたのは非常に考えられた良い活動のように思えた。
- シナイモツゴが生活できる池の環境を目指してザリガニを駆除するという行動力が素晴らしいと思う。また駆除したザリガニもその命を無駄にしないように活用しようとして、新しい生命につなげる肥料の役割を持たせたことは、環境の中で物質が循環していることがうまく表現されていると感じた。
- 絶滅危惧種のシナイモツゴについて調べたり実際に育ててみて、1番良い環境はなんなのか試行錯誤しているのが素晴らしいことだと感じました。さらに、今回題材になっているシナイモツゴだけでなく、絶滅危惧種になった原因の一つである外来種のアメリカザリガニについても研究していて、広い視野で学ぶことができていたと思います。
- 生き物を育てることに真剣に向き合ってきたことが良く伝わる発表でした。他の絶滅危惧種がどのような保護や対応によって守られているかなど、自分たちの探求を更に広げられるように、飼育の一つ一つを意識しながらこれからも取り組んでいてください。
- シナイモツゴの命とザリガニの命を両方考えなければならない難しい問題だと思いました。しかし信里小学校の皆さんからはできるだけ苦しみずに命を頂く方法や命をつなぐ活動などをザリガニの命に最大限敬意を払って行っている様子が伝わってきて、誠実に命に向き合っていると感じました。今後の活動や日々の生活でも、この活動を通して得られた命への敬意を大切にしてください。自分を含めたすべての生き物を大切にしていってほしいと思いました。
- 自分はシナイモツゴについては今までしなかったし、聞いたこともなかったので、今回の発表は自分にとってはとても興味深い内容だった。何も知らない自分でも理解できたので、とても分かりやすい発表であると感じた。
- 絶滅危惧種である「シナイモツゴ」のためにザリガニを駆除するときに、シナイモツゴのことだけでなく、ザリガニの命についても考えることができていてすごいなと思いました。このことから得た学びは、これから学習することや自分が直面した出来事についても生かすことができると思うので、忘れないでほしいなと思いました。
- 自分たちの目で観察したり、インターネットを利用して調べ学習をしたりすることを通してシナイモツゴについて理解が深まっているように感じました。そこから命のつながり、命の尊さを感じ、理科学的な内容と結び付けて考えられていたのが良かったと思います。
- シナイモツゴのためにザリガニを駆除しないといけないなか、駆除されるザリガニの命のことも考えていて素晴らしいと思いました。肥料なしのパンジーと肥料ありのパンジーを育て、どれほどの違いがあるのかも比較できていていいと思いました。

(教職員のみなさんへ)

- 在来種であり、数が減り続けているシナイモツゴを守る活動を考える中で、新たな活動を見いだしていく姿がとても素敵でした。私も子どもたちがザリガニをとってきて困ったことがあります。クラスで飼っていると共食いをしたり、においがきつかったり…。最後まで飼いきれなくてはならないという点から、身近にいるザリガニを駆除したくてもやり切れないことに課題を感じました。しかし、飼いきれ続けるという視点から、ザリガニの命を肥料として活用するという新たな視点に驚かされました。子どもたちの言葉の中に、「ザリガニの命が続いていく」という言葉がありました。「命を大切にする」という概念そのものを覆されました。子どもたちならではの、とても素敵な考え方です。外来種は生態系を壊す可能性がある脅威である。しかし私たちと同じ命を持っている。その折衷案を子どもたちと創り上げたことに大きな意味があると感じました。ザリガニが減り、人工繁殖させたシナイモツゴがさらに信里の地域に増えていくことを期待しています！